



## 支部長挨拶



宇都宮支部

令和7年 新春を迎えて

支部長 野澤 充広



令和7年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、当支部の活動に対しまして格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、8月には、支部会員が総力を挙げて整備に取り組んだ宇都宮ライトレールが開業1周年を迎え、11月には、乗客数が600万人に達するなど、地域の移動手段として定着いたしました。

このような中で、LRTの宇都宮駅西側への延伸を控え、沿線の再開発事業などが動き出すとともに、栃木県におきましても、「文化と知」の創造拠点となる美術館や図書館などの再整備が動き出すなど、新たな街づくりが始まろうとしています。

当支部といたしましては、労働災害の根絶や働き方改革の推進などに努めるとともに、公共工事の受注産業としての自覚と誇りを持ち、引き続き地域の発展に寄与して参る所存でありますので、皆様のご支援、ご指導をお願いいたします。

結びに、皆様にとりまして、本年が、希望に満ちた明るい年となりますことを祈念申し上げ、新春の挨拶とさせていただきます。



宇都宮ライトレール開業一周年



鹿沼支部

令和7年 新春を迎えて

支部長 宇賀神 勝



新年明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

2025年を迎え、私たち鹿沼支部は、統合管理業務委託をはじめとする地域社会の発展と安全を守る「守り手」としての責任を一層感じております。災害時の対応をはじめ、地域インフラを支え、住民の生活環境や安全を守るとともに、地域の発展に貢献するため、今年も尽力してまいります。

また、働き方改革関連法が建設業に適用されて2年目を迎え、働き手不足や長時間労働の是正、女性や若者の活躍推進など、業界の課題は山積しています。これらの問題を解決するため、引き続き取り組んでまいります。

今年も地域社会に貢献し、業界の発展と働きやすい環境づくりに尽力してまいります。引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆さまにとって、2025年がより良い一年となりますようお祈り申し上げます。



情報伝達訓練



水防訓練



総合学習支援活動



## 支部長挨拶

### 日光支部

令和7年 新春の抱負

支部長 榎本 美明



新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

昨年2月に支部長に就任してから早いもので10カ月が過ぎました。就任当初から総会や各種会議・イベント、支部を取り巻く諸問題等が目白押しであり、慌ただしい日々を過ごしました。

支部の主な事業としては、昨年10月5日に『とちぎ子どもの未来創造大学』を実施し、日光市内の小中学生を対象に、建設業の仕事についてパワーポイントを使って説明し、ドローンやバックホウの操作体験、高所作業車の搭乗体験を行い、建設業の魅力をアピールしました。

また、11月には支部の業務をPRするため、オモテ面に除雪状況写真、裏面に支部会員名を記した除雪カードを作成し、一般の方にも窓口で配布を始めたところ、予想以上に好評であり、増刷しました。

なお、3年後の令和10年が支部創設80周年となるため、記念事業として会館建設、記念誌発行、記念式典の実施を予定しています。特に会館建設については、昨年、準備委員会を立ち上げ、検討を進めているところであり、計画どおり実施できるよう取り組みますので一般社団法人栃木県建設業協会ははじめ関係機関の方々には、ご指導・ご支援をお願い申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。



高所作業車で目視確認



除雪カード

### 芳賀支部

令和7年 新春を迎えて

支部長 坂野 弘



新年あけましておめでとうございます。

昨年は「芳賀建設会館」の落成、「支部創立100周年記念式典」と協会をはじめ関係者の皆様には大変お世話になりました。また、「とちぎ子どもの未来創造大学」に初

めて参加いたしました。建設業を理解してもらうためには、絶好の機会であることを実感したところです。そこで今年は、創立100周年記念事業として、地元にお住まいの親子を対象とした体験型の現場見学会の開催を考えています。お子さんには建設業の楽しさや面白さを、親御さんには建設業の社会的使命を伝えられればと思います。芳賀支部は1月27日に支部創立100周年を迎えます。今年を次の100年に向けた新たな出発点とし、進化を遂げるべく決意を新たに支部員一同、総力を結集し「地域の創り手」、「地域の守り手」として地域に暮らす人々がいつまでも安心して豊かに暮らせる県土づくりに尽力してまいります。これからも芳賀支部をよろしくお願いたします。



とちぎ子どもの未来創造大学（令和6年10月19日）



新しくなった芳賀建設会館（令和6年11月落成）



## 支部長挨拶

### 下都賀支部

令和7年 新春を迎えて

支部長 齋藤 和実



新年明けましておめでとうございます。新春を迎えるに当たり、謹んでご挨拶申し上げます。

昨年を振り返りますと、新年早々、能登半島で震度7の地震・津波が発生しました。また、最大震度5弱の地震が、福島県沖、茨城県南部、北部でも発生しており、被災されました皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

私ども建設業協会では、地域の安全・安心の確保を担う「地域の守り手」としての社会的使命を担っており、常に災害時の応急対策業務要請への即応体制を整え、円滑な災害対応・復旧の実現に貢献してまいります。

また、建設業の健全な発展向上を図るための雇用改善及び人材育成事業に取り組んでまいります。具体的には、若年入職者の確保育成といたしまして、建設現場の「現場見学会」の開催や「インターンシップ」「高校出前講座」を引き続き実施してまいります。また、労働災害ゼロを目指し、労働安全衛生法に基づく対策等の周知徹底を図り労働災害の防止を図ってまいります。

さらに、上記活動の拠点となる下都賀建設会館については、建築後54年が経過し、施設の老朽化、設備の劣化等の課題が生じていることから、現在、1. これからの100年地域と共存し、建設業のシンボルとなる建物 2. 建設業の魅力を発信し、災害に対応した建物をコンセプトとして新下都賀建設会館の新築移転計画を進めております。

本年も、建設業協会会員の皆様とともに、直面する様々な困難を乗り越え、建設業の価値を一層磨き上げながら、活力ある建設業協会の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。



新下都賀建設会館建設予定地

### 塩谷支部

令和7年 新春を迎えて

支部長 岡村 昌仁



新年おめでとうございます。今年は支部長に就任して4年目になります。支部長としての仕事に慣れてはきましたが、まだまだ不十分であり、時間が経つことにより時間に流されることがないように、積極的な気持ちをもって塩谷支部を一層活発化していきたいと思っております。

昨年の支部行事を振り返りますと、全員参加の下、6月に実施した水防情報と地震情報を組み合わせた情報伝達訓練のほか、9月に開催予定であった栃木県・矢板市総合防災訓練の準備活動があります。しかし、これは残念ながら台風により中止になってしまいましたが、多くの支部員の協力で準備が整い、各方面から感謝の言葉をいただきました。

今まで支部活動などにご指導・ご助言いただいた支部員の皆様に感謝するとともに、やはりできるだけ多くの支部員さんに支部行事に楽しく気軽に参加していただき、一層の交流や親睦を深め、支部の活性化をさらに促進させて一步一步より良い方向に進むことを目標に、今年も一年頑張っていきたいと考えております。

塩谷支部のさらなる飛躍を目指して、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



令和6年6月 水防及び地震情報伝達訓練風景



大型土のう積工法設置訓練



令和6年総合防災訓練準備 倒壊建物設置状況



## 支部長挨拶

### 那須支部

令和7年 新春を迎えて

支部長 岩 見 武



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

去年は、元日の能登半島地震から始まり、全国各地でも地震や豪雨等の自然災害が多発し、さらに記録的な猛暑となり、自然の変化にも脅威を感じる一年となりました。

那須地域においては、2度目となる大規模な豚熱が5月に発生し、支部員の全面的な協力体制を見て結束力の強さを再確認できました。

本年は人材確保・育成のため、インターンシップ・とちぎ子どもの未来創造大学・仕事説明会を継続し、専門高校以外へのリクルート活動、ワクチャレへの参加、外国人採用・在宅ワーカー活用等の講習会を企画していきます。

また、保有するドローンやソフトを活用してICT施工を支援し、生産性を向上させて働き方改革を後押しできればと考えています。

安全に高品質な現場づくりを推進し、一枚岩となって努力してまいります。本年が皆様にとって実り多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



インターンシップ座談会



ドローン（マトリス）レーザーカメラ搭載

### 烏山支部

令和7年 新春を迎えて

支部長 岡 恒 夫



新しい年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、4月から建設業の働き方改革が施行され、我々は、長時間労働の是正、ICTの導入等労働環境の改善に努めてまいりました。業界一丸となり建設業の魅力をアピールし、イメージアップに努めておりますが、次世代を担う若年技術者の確保は未だに課題となっております。

我々は、安全・安心なまちづくりのため、災害や降雪時には地域の守り手として活動し、地域を支える業界であり続けなければなりません。希望を持ち、安心して働ける、将来性を感じてもらえる建設業になるべく、取り組みを進めてまいります。

結びに、今年は、乙巳（きのとみ）の年であり、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になるといわれています。皆様の取り組みが実を結び、魅力あふれる業界に発展を遂げる年になりますよう願うとともに、皆様にとって幸多き年になりますよう祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。



山あげ祭応援クリーン作戦



一級河川荒川災害復旧助成事業竣工式



## 支部長挨拶

### 安蘇支部

令和7年 新春を迎えて

支部長 木村 光伸



新年明けましておめでとうございます。日頃より当支部に対し、ご指導・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。改めて御礼申し上げます。

当支部管内の佐野市では、令和元年の台風19号により、市を南北に貫流する一級河川秋山川上流部の兼用道路の崩壊、中流部の越水、下流部堤防の決壊など甚大な災害を被りました。その後、災害復旧工事が行われ、栃木県をはじめ関係機関のご尽力により、令和7年度には完了する見込みとなりました。

支部員17社も、災害発生時の対応から復旧工事と、現場の安全第一を最優先の課題として取り組み、労働災害防止に努め成果を上げております。

また、安蘇支部では、佐野SAのスマートICに近接する県営みかも山公園西口へ接続する県道みかも山公園線の愛ロード活動を年間6回、実施しております。この活動や担い手確保につながる総合学習支援活動並びに道路及び河川等維持管理統合業務委託などは、支部員の団結と融和の象徴的な社会貢献活動であり、今後とも積極的に取り組んでまいりたいと存じますので、引き続き、ご指導・ご協力をお願いいたします。本年が皆様にとって素晴らしい年となりますようお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶といたします



護岸復旧



愛ロード

### 足利支部

令和7年 新春を迎えて

支部長 蓼沼 法彦



平素は足利支部の事業活動に対し格別のご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げます。当支部の主な活動を以下にご紹介いたします。

街のシンボルである中橋は、周囲より橋の部分が約3メートル低いため、2019年台風19号の際には足利支部会員で堤防付近に大型土のうを積んで災害越水対策を行いました。現在、堤防の嵩上げと橋の架け替え工事が進捗中です。

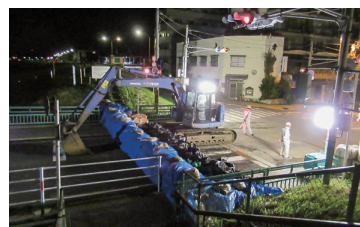
10月に、通行止めとなった中橋上で、渡良瀬川河川事務所、安足土木事務所、足利市主催、栃木県建設業協会足利支部共催にて「ありがとう中橋！～いよいよ生まれ変わる中橋～」を開催し盛大なイベントとなりました。

例年、道路河川等管理情報システム伝達訓練、排水ポンプ車稼働訓練、水防演習などを行い有事に備え、また愛リバー、花火大会や尊氏公マラソン開催前のクリーン運動に加え、両毛ヤクルト様の「健康祭り」に出展し地元建設業を広く広報しています。

魅力ある建設産業の創造をめざし、急激なインフレや担い手不足、ICTやDXなど様々な課題に対して取り組み、地域独特の環境や事情を鑑み、地域建設業発展のための事業活動を展開いたします。



足利市水防演習（5月19日）



令和元年東日本台風時の水防活動



ありがとう中橋！～いよいよ生まれ変わる中橋～（10月14日）